かすかべ杜の保育園　職員自己評価結果
実施年月　2023年02月
自己評価実施人数（集計対象）　21人

		評価項目	平均スコア（4点満点）
1		基本的理念と社会的責任	2.76
1	1	「幼児期の終わりまでに育ってほしい１０の姿」と園の目標・計画の繋がりを理解し、保育を行っている	2.47
1	2	子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを互いに尊重する心を育てるよう日々保育をしている	2.76
1	3	性差への先入観による固定的な観念を植え付けないよう日々保育を行っている	2.95
1	4	子どもの特性や発達の過程に応じ、発達のねらいや方針に即した援助を日々行っている	2.81
1	5	子どもの主体的な活動を促し、意欲を持って活動できるような援助を日々行っている	2.76
2		保育の配慮事項	2.86
2	1	子どものその時々の気持ちを受けとめて保育を行うよう日々配慮している	3.05
2	2	入園から就学（卒園）までの発達の連続性をイメージ・理解して保育をしている	2.67
2	3	園内や保育室など、子どもが安心できる雰囲気を作ることを心掛けて環境を構成している	2.86
2	4	個人情報の取り扱い方をマニュアル等により理解し、適切に対応している	3.05
2	5	保護者のご意見・苦情に対する対応、対策をマニュアル等により理解し、発生時は適切に対応している	2.67
3		計画・評価・育ちの見通し	2.47
3	1	全体的な計画、年間指導計画により、長期的な見通しをもち、職員で共有し、日々保育を行っている	2.63
3	2	保育目標やねらいをベースに、各年齢の子どもの発達状況に配慮した指導計画を策定している	2.39
3	3	日々の保育の連続性や季節の変化を考慮して、年案、月案、週日案を作成している	2.5
3	4	子どもの実態や状況の変化に応じて、保育の振り返り、見直し改善を行っている	2.26
3	5	チェックリストによる自己評価を実施し、自身の長所や課題を発見し、改善に努めている	2.59
4		特別支援・障がい児保育	1.88
4	1	障害のある子どもの特性に合わせた個別支援のための計画を立案している	2
4	2	園内外問わず、研修等を通じて障害児保育に必要な知識を得ている	2
4	3	障がいのある子どもの保護者と話す場を定期的に設け、信頼関係の構築に努めている	1.8
4	4	障がいのある子どもの保護者に就学など将来の方向に関しての情報提供や相談に応じている	1.72
5		乳児保育のねらいと内容	2.76
5	1	発育に応じた行動（立つ、歩くなど）を自発的に行う意欲や経験をさせている	2.94
5	2	離乳食は、職員同士、または職員と保護者とが密に連携をとり、子どもの状況に配慮して提供している	2.47
5	3	午睡中はセンサーの使用問わず、体を仰向けにすることを認識し、体温、顔色、呼吸のチェックをしている	2.73
5	4	生活や遊びの中で、音･形･色･手触りなどに気づかせてさまざまなものに触れさせている	2.75
5	5	発声や喃語等を優しく受け止め応えることで、言葉の理解や発語の意欲を育てている	2.88
6		１～3歳未満のねらいと内容	2.93
6	1	子どもが自分でやろうとする、出来るようになろうと頑張る主体的な気持ちを尊重している	3.06
6	2	他の子どもとの関わり方や集団生活を発達に応じて身につけられるよう日々保育をしている	2.89
6	3	自分の思いを伝えたり、相手の思いに気づいたりする経験を重ねていけるよう援助している	3.06
6	4	公園や園庭など、積極的に戸外遊びを取り入れて身体の発達を促している	2.94
6	5	感覚の働きを豊かにする遊びや、全身を使う遊びを取り入れられるよう活動内容を工夫している	2.72
7		3歳以上児のねらいと内容	2.84
7	1	生活に必要な基本的な習慣や態度が身につくよう、目標やねらいに基づいて保育している	2.71
7	2	園内外の危険な場所を知り、安全に気をつけて遊ぶように声掛け、働きかけを行っている	2.76
7	3	友達と遊びを一緒に工夫、協力したり、共に達成感が味わえるように声掛け、働きかけを行っている	2.88
7	4	生活や遊びの中で、自分の体験や要求を自分なりに表現できるように声掛け、自信、自己肯定感を持てるよう工夫している	2.88
7	5	友達との関わりを通して、相手を思いやる気持ちを持てるように声掛け、働きかけを行っている	2.94
8		健康支援	2.99
8	1	感染症に対する園の方針やマニュアルのポイントを理解し、行動している	3.19
8	2	健康診断と歯科検診の結果について、保護者や職員に速やかに伝達している	3.05
8	3	子どもの出生時から入園までの発育・発達の状況を十分に把握している	2.45
8	4	食物アレルギー児への対応として、誤食が起きないための対策を理解し、実践できている	2.95
8	5	保護者から与薬の要請を受ける場合や子どもに与薬する場合の対応方法を理解し、適切な処置をしている	3.3
9		食育の推進	2.67
9	1	子どもが意欲的に食に関する体験ができるよう、具体的な食育計画を作成している	2.31
9	2	乳幼児に身につけておきたい挨拶や姿勢、食具の持ち方など食事のマナーを伝えている	3.19
9	3	保護者と連携し、ここの食物アレルギーなどの情報共有を定期的に行っている	2.53
9	4	子どもが栽培、収穫したものや調理したものを食べる機会をつくるように心がけている	2.22
9	5	園での食育活動をお便りや連絡帳などを活用して保護者に周知している	2.95
10		安全管理	2.82
10	1	これまで園内で起こった事故およびヒヤリハットを理解し、定期的に報告、共有をしている	3.19
10	2	睡眠中、水遊び中、食事中などの場面で重大事故が発生しやすいことを認識し、事故防止に努めている	3.29
10	3	事故防止や安全管理に対する国の方針や園のマニュアルなどを理解し、実践している	2.71
10	4	園内の設備、玩具、用具などの点検の仕方、ポイントを理解している	2.47
10	5	日常的に利用する散歩経路や公園などの異常や危険性などを理解し、必要に応じて点検している	2.37
11		環境・衛生管理	3.3
11	1	子どもが活動しやすい様に保育室の温度、湿度、換気、採光などを適宜調整している	3.14
11	2	一人一人の子どもの服装、頭髪、爪などを定期的にチェックし、異常があった場合は職員間で共有している	3.29
11	3	新型コロナウィルスの感染対策を理解し、実践している	3.48

12		災害対策	2.49
12	1	災害に対する園の方針などを十分に理解している	2.9
12	2	園の災害対応マニュアルを熟知し、対応できるよう備えが出来ている	2.71
12	3	消火器、火災受信機、配電盤の設置場所が分かり、操作方法を知っている	2.38
12	4	保護者との連絡体制や引渡し方法のルールが明確で、それらを十分に理解している	2.15
12	5	ハザードマップを理解し、地震や豪雨の際の園から避難場所への適切な避難経路を把握している	2.25
13		家庭との連携（在園児）	3.02
13	1	保護者のお迎え時、活動内容を伝えるだけではなく、学びや成長の変化を伝えることが出来ている	2.95
13	2	保護者が、子育ての悩みや心配事を安心して話せる存在になるよう心掛け、対応している	2.95
13	3	日頃より保護者や子どもの様子を注視し、虐待の予防や早期発見に努めている	3.1
13	4	家庭の状況を把握するため保護者と情報交換を行い、必要に応じて関係職員と共有している	2.86
13	5	園だより、クラスだより、給食だより、保健だよりなどを、定期的（月1回程度）に発行している	3.28
14		家庭との連携（地域）	1.35
14	1	関係者評価や自治体など、地域の子どもについての保育ニーズを把握している	1.61
14	2	保育園の活動や行事に地域の人々の参加を呼びかけるなど、地域交流できる機会を確保している	1.13
14	3	地域住民から受けた子育て相談の内容について連絡、相談する外部の関係機関を把握している	1.29
15		職員の資質向上	2.23
15	1	園内・外で行われる研修や会議に積極的に参加し、資質向上を図っている	2.39
15	2	個人の自己評価などで課題を見つけ、その課題の解決に取り組んでいる	2.1
15	3	定期的に保育に関する専門書や関係書を読むなど、保育知識を習得するよう努めている	2.33
15	4	自身の保育実践について、自ら上司や同僚のアドバイスをもらうよう努め、成長しようとしている	2.38
15	5	園で決定した方針が自身の意見と違うときに、直接その理由を聞いたり、広い視野を持って前向きに考えるようにしている	1.95

課題

1		基本的理念と社会的責任	2.76
1	1	「幼児期の終わりまでに育ってほしい１０の姿」と園の目標・計画の繋がりを理解し、保育を行っている	2.47
1	2	子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを互いに尊重する心を育てるよう日々保育をしている	2.76
1	3	性差への先入観による固定的な観念を植え付けないよう日々保育を行っている	2.95
1	4	子どもの特性や発達の過程に応じ、発達のねらいや方針に即した援助を日々行っている	2.81
1	5	子どもの主体的な活動を促し、意欲を持って活動できるような援助を日々行っている	2.76
2		保育の配慮事項	2.86
2	1	子どものその時々の気持ちを受けとめて保育を行うよう日々配慮している	3.05
2	2	入園から就学（卒園）までの発達の連続性をイメージ・理解して保育をしている	2.67
2	3	園内や保育室など、子どもが安心できる雰囲気を作ることを心掛けて環境を構成している	2.86
2	4	個人情報の取り扱い方をマニュアル等により理解し、適切に対応している	3.05
2	5	保護者のご意見・苦情に対する対応、対策をマニュアル等により理解し、発生時は適切に対応している	2.67
3		計画・評価・育ちの見通し	2.47
3	1	全体的な計画、年間指導計画により、長期的な見通しをもち、職員で共有し、日々保育を行っている	2.63
3	2	保育目標やねらいをベースに、各年齢の子どもの発達状況に配慮した指導計画を策定している	2.39
3	3	日々の保育の連続性や季節の変化を考慮して、年案、月案、週日案を作成している	2.5
3	4	子どもの実態や状況の変化に応じて、保育の振り返り、見直し改善を行っている	2.26
3	5	チェックリストによる自己評価を実施し、自身の長所や課題を発見し、改善に努めている	2.59
4		特別支援・障がい児保育	1.88
4	1	障害のある子どもの特性に合わせた個別支援のための計画を立案している	2
4	2	園内外問わず、研修等を通じて障害児保育に必要な知識を得ている	2
4	3	障がいのある子どもの保護者と話す場を定期的に設け、信頼関係の構築に努めている	1.8
4	4	障がいのある子どもの保護者に就学など将来の方向に関しての情報提供や相談に応じている	1.72
5		乳児保育のねらいと内容	2.76
5	1	発育に応じた行動（立つ、歩くなど）を自発的に行う意欲や経験をさせている	2.94
5	2	離乳食は、職員同士、または職員と保護者とが密に連携をとり、子どもの状況に配慮して提供している	2.47
5	3	午睡中はセンサーの使用問わず、体を仰向けにすることを認識し、体温、顔色、呼吸のチェックをしている	2.73
5	4	生活や遊びの中で、音･形･色･手触りなどに気づかせてさまざまなものに触れさせている	2.75
5	5	発声や喃語等を優しく受け止め応えることで、言葉の理解や発語の意欲を育てている	2.88
6		１～3歳未満のねらいと内容	2.93
6	1	子どもが自分でやろうとする、出来るようになろうと頑張る主体的な気持ちを尊重している	3.06
6	2	他の子どもとの関わり方や集団生活を発達に応じて身につけられるよう日々保育をしている	2.89
6	3	自分の思いを伝えたり、相手の思いに気づいたりする経験を重ねていけるよう援助している	3.06
6	4	公園や園庭など、積極的に戸外遊びを取り入れて身体の発達を促している	2.94
6	5	感覚の働きを豊かにする遊びや、全身を使う遊びを取り入れられるよう活動内容を工夫している	2.72
7		3歳以上児のねらいと内容	2.84
7	1	生活に必要な基本的な習慣や態度が身につくよう、目標やねらいに基づいて保育している	2.71
7	2	園内外の危険な場所を知り、安全に気をつけて遊ぶように声掛け、働きかけを行っている	2.76
7	3	友達と遊びを一緒に工夫、協力したり、共に達成感が味わえるように声掛け、働きかけを行っている	2.88
7	4	生活や遊びの中で、自分の体験や要求を自分なりに表現できるように声掛け、自信、自己肯定感を持てるよう工夫している	2.88
7	5	友達との関わりを通して、相手を思いやる気持ちを持てるように声掛け、働きかけを行っている	2.94
8		健康支援	2.99
8	1	感染症に対する園の方針やマニュアルのポイントを理解し、行動している	3.19
8	2	健康診断と歯科検診の結果について、保護者や職員に速やかに伝達している	3.05
8	3	子どもの出生時から入園までの発育・発達の状況を十分に把握している	2.45
8	4	食物アレルギー児への対応として、誤食が起きないための対策を理解し、実践できている	2.95
8	5	保護者から与薬の要請を受ける場合や子どもに与薬する場合の対応方法を理解し、適切な処置をしている	3.3

9		食育の推進	2.67
9	1	子どもが意欲的に食に関する体験ができるよう、具体的な食育計画を作成している	2.31
9	2	乳幼児に身につけておきたい挨拶や姿勢、食具の持ち方など食事のマナーを伝えている	3.19
9	3	保護者と連携し、ここの食物アレルギーなどの情報共有を定期的に行っている	2.53
9	4	子どもが栽培、収穫したものや調理したものを食べる機会をつくるように心がけている	2.22
9	5	園での食育活動をお便りや連絡帳などを活用して保護者に周知している	2.95
10		安全管理	2.82
10	1	これまで園内で起こった事故およびヒヤリハットを理解し、定期的に報告、共有をしている	3.19
10	2	睡眠中、水遊び中、食事中などの場面で重大事故が発生しやすいことを認識し、事故防止に努めている	3.29
10	3	事故防止や安全管理に対する国の方針や園のマニュアルなどを理解し、実践している	2.71
10	4	園内の設備、玩具、用具などの点検の仕方、ポイントを理解している	2.47
10	5	日常的に利用する散歩経路や公園などの異常や危険性などを理解し、必要に応じて点検している	2.37
11		環境・衛生管理	3.3
11	1	子どもが活動しやすい様に保育室の温度、湿度、換気、採光などを適宜調整している	3.14
11	2	一人一人の子どもの服装、頭髪、爪などを定期的にチェックし、異常があった場合は職員間で共有している	3.29
11	3	新型コロナウィルスの感染対策を理解し、実践している	3.48
12		災害対策	2.49
12	1	災害に対する園の方針などを十分に理解している	2.9
12	2	園の災害対応マニュアルを熟知し、対応できるよう備えが出来ている	2.71
12	3	消火器、火災受信機、配電盤の設置場所が分かり、操作方法を知っている	2.38
12	4	保護者との連絡体制や引渡し方法のルールが明確で、それらを十分に理解している	2.15
12	5	ハザードマップを理解し、地震や豪雨の際の園から避難場所への適切な避難経路を把握している	2.25
13		家庭との連携（在園児）	3.02
13	1	保護者のお迎え時、活動内容を伝えるだけではなく、学びや成長の変化を伝えることが出来ている	2.95
13	2	保護者が、子育ての悩みや心配事を安心して話せる存在になるよう心掛け、対応している	2.95
13	3	日頃より保護者や子どもの様子を注視し、虐待の予防や早期発見に努めている	3.1
13	4	家庭の状況を把握するため保護者と情報交換を行い、必要に応じて関係職員と共有している	2.86
13	5	園だより、クラスだより、給食だより、保健だよりなどを、定期的（月1回程度）に発行している	3.28
14		家庭との連携（地域）	1.35
14	1	関係者評価や自治体など、地域の子どもについての保育ニーズを把握している	1.61
14	2	保育園の活動や行事に地域の人々の参加を呼びかけるなど、地域交流できる機会を確保している	1.13
14	3	地域住民から受けた子育て相談の内容について連絡、相談する外部の関係機関を把握している	1.29
15		職員の資質向上	2.23
15	1	園内・外で行われる研修や会議に積極的に参加し、資質向上を図っている	2.39
15	2	個人の自己評価などで課題を見つけ、その課題の解決に取り組んでいる	2.1
15	3	定期的に保育に関する専門書や関係書を読むなど、保育知識を習得するよう努めている	2.33
15	4	自身の保育実践について、自ら上司や同僚のアドバイスをもらうよう努め、成長しようとしている	2.38
15	5	園で決定した方針が自身の意見と違うときに、直接その理由を聞いたり、広い視野を持って前向きに考えるようにしている	1.95